

健診に合わせて行われた食生活・健康調査



9/1~8 (木~木)

## 郡山女子大との地域連携事業 町民の食事バランス調査

町と郡山女子大学との地域連携事業の一環として、町の総合健診に合わせた食生活・健康調査が行われました。調査は、食を通じた町民の健康維持、生活習慣病の予防などに役立てることを目的としたもので、同大の食物栄養学科の教授や学生の協力のもと、健診会場の鳥見山体育館で実施しました。調査には健診受診者のうち390人の方に回答をいただきました。

## 東日本台風で活躍の町消防団 内閣総理大臣表彰を受賞

昨年の東日本台風において、住民の安全確保と被害の軽減に多大な貢献があったとして、鏡石町消防団が「令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。内閣総理大臣官邸での表彰式の後、稲田幸吉団長と添田孝利副団長が遠藤栄作町長に受賞を報告し、稲田団長は「この受賞を励みに、災害から町民の生命・身体・財産を守るため、精一杯活動していきたい」と話しました。



9/4 (金)

遠藤町長に受賞報告に訪れた稲田団長(中央)と添田副団長(右)

力強い演奏を披露する保存会の会員ら



8/15 (土)

## 鏡田盆踊り保存会 「音」で地域に元気を

鏡田盆踊り保存会(滝田勝友会長)による恒例の盆踊りが鏡田転作センターで行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが中止となる中、地域文化の継承や先祖供養のため、例年2日間の盆踊りを1日のみとし、無観客で行いました。会員らは、この日のために練習を重ね、力強い太鼓や笛の演奏を地域に届けていました。

## 町内のボランティア団体等 子どもたちにマスク寄付

町内のボランティア団体などが協力して作成したマスクが、保育所や幼稚園の子どもたちに寄付されました。マスクは、生きがいと創造事業の団体(手芸クラブ)やゆめクラブなど10団体、個人10名が一つ一つ手作りしたもので、岡ノ内保育園・幼稚園、鏡石幼稚園、鏡石保育所、認定こども園ぶどうの木に合計580枚が贈られました。



9/11 (金)

マスクを受け取る児童ら(鏡石保育所)

# ひ よう じん 熱いぜ! まちの 火の要人

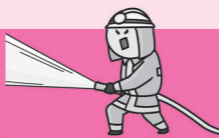
【第5回】



おおつか みつひろ  
大塚 光裕さん(36)  
第7分団(豊郷)分団長  
普段のお仕事: 会社員

地元の消防団から声がかかり、地域の役に立てるならと入団しました。消防団員だった父を見ていたので、消防団の活動には理解がありました。火事現場への出動や操法訓練を通し、できなかったことができるようになった時には達成感があります。頼りになる先輩方がサポートしてくれますし、分団の垣根を越えて団員同士の交流があることが鏡石町消防団の良いところだと思います。

## 消防団の敬礼



相手に敬意を表す「敬礼」。消防団でも様々な場面で敬礼が行われます。敬礼と聞いて皆さんがまず思い浮かべるのは、帽子のひさしに右手を上げ姿勢を正す姿だと思いませんか。特に子どもたちはこの姿に憧れるのではないのでしょうか。これは「拳手注目の敬礼」といい、着帽時に行われる敬礼の一つです。黙祷の際や室内で帽子を脱いでいる時などは、手は上げず、体を前に傾ける敬礼を行います。



消防団の行事の様々な場面で敬礼が行われます

鏡石町消防団に関するお問い合わせは 鏡石町総務課 ☎62-2111 E-mail: somu@town.kagamiishi.lg.jp

## 笠石でサポーター養成講座 認知症への理解深める

かさいサロンの一環として笠石防災センターで「認知症サポーター養成講座」が開かれ、約30人が参加しました。㈱バイタルネットの緑川直輝さんが講師を務め、参加者は認知症の主な症状や予防策、当事者との向き合い方などについて理解を深めていました。また、参加者には認知症の人やその家族の応援者である「認知症サポーター」の証として「オレンジリング」が手渡されました。



9/16 (水)

認知症について学ぶ参加者

## 町老人クラブ連合会が大会 グラウンドゴルフで熱戦

第22回鏡石町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会が鳥見山多目的広場で行われ、参加者が優勝を目指して熱戦を繰り広げました。大会には45名が参加し、男子の部は優勝が八巻真二さん(豊郷豊寿会)、準優勝が菊地昭さん(四区熟年会)、女子の部は優勝が佐藤玲子さん(豊郷豊寿会)、準優勝が込山愛子さん(さかい寿会)でした。



9/14 (月)

はつらつとプレーする参加者たち